桐生地域地場産業振興センター・染織資料

Kiryu Area Industry Promotion Center

新 井 求 美

1. はじめに

桐生地域地場産業振興センターは、桐生市とその周辺町村の産業振興の拠点として、昭和60年10月に設立され、62年3月にオープンしました。

センターには桐生市が所有する数万点に及ぶ染織品や染織品に附随する資料が保管され、定期的に公開展示されています。また、これらの資料を地域産業である繊維業界にデザインソースとして提供するために、検索システムの構築やマルチメディア化、デザイン資料誌の刊行などの事業を行っています。

写真1

2. 染織資料の概要

地場産業振興センターが保管管理している染織資料は、数種類に分類され、管理運営されています。

1) 「桐生笹川コレクション」を中心とする世界各地の民族衣装など、染織品と衣生活に関する資料約2000点
このコレクションは職人の町として発達してきた桐生にふさわしいものとして、物づくりの参考になるべく、世界各

写真2

地の民族の手業を極めた染織品が収集されています。たとえばインド北部パンジャブ州のベール、プルカリは、娘たちが結婚の持参品として母から習い、つくりあげたものです。綿の地布全面に、真綿糸で糸目を数えながら丹念に幾何学文様を刺します。地布はほとんど隠れてしまい、まるで絹のベールのように見えます。また東部のベンガル地方ではかつて女性は勝手に外出することができず、自由に使えるお金を持つこともできませんでした。彼女たちは使い古しの布を重ね、古いサリーの緯糸を抜いて刺繍糸とし、夜具やおくるみを縫いあげていきました。彼女たちが存在をかけてつくり続けた布カンタには生命の樹や動植物、人間などが生き生きと描かれ、文様と文様の間にも隙間なくステッチが施され、小波のようなマチエールが作り出されています。

中国西南部に暮らす苗(ミャオ)族の人々は、住む地域ごとに異なる多様なスタイルと染織技法・刺繍技法を持っています。文字を持たなかった彼らは、民族の神話や伝承を文様にして衣装に施しています。

ブータンの女性衣装キラの文様はチェーンステッチの刺繍のように見えますが、片面縫取り織とよばれる技法で織り出されています。縞地に絹糸で縫い取りが施され、精緻なものは完成まで2年を要するといわれています。卅や数種類の幾何学文様はチベット仏教に基づく図柄であったといわれています。

このように形態・素材・染料・染・織技法・刺繍・文様など、染織品を構成する要素すべてに必然性がある品々は、

MOTOMI ARAI

〒376-0054 桐生市西久方町 2-1-20

Tel: 0277-43-6676

e-mail: araimoma@athena.ocn.ne.jp

〈専門〉染織美術

〈趣味〉地域の伝統芸能(お囃子)継承活動

約 1,000 冊

平成14年1月後半からは〈抽象文様展〉を開催予定

身に付けていると言ってもよいと思われます。これらの文様を「植物文様・動物文様・抽象文様」に分類し、写真を主体に編集し刊行しました。なお2巻から7巻までの合冊も販売しています。

(助)桐生地域地場産業振興センター 4階資料展示ホール
桐生市織姫町 2-5 TEL:0277-46-1011
月曜休館 午前10時～午後4時00分

02-1 ポリマーフロンティア 21 マイクロリキッドプロセスを用いたデバイス創生とその将来展望

主 催：高分子学会 行事委員会 協 賛：繊維学会ほか
日 時：平成14年4月16日(火) 9:50～17:00 会 場：東京工業大学 百年記念館フェライト会議室(3階)
交 通：東急目黒線・東急大井町線「大岡山駅」下車徒歩約1分
プログラム、および申込の詳細については下記にお問い合わせ下さい。
(社)高分子学会 02-1 ポリマーフロンティア 21
〒104-0042 東京都中央区入船 3-10-9 新富町東急ビル 6F TEL:03-5540-3770,3771 FAX:03-5540-3737

複合材料界面シンポジウム第10回記念大会

主 催：複合材料界面科学研究会 協 賛：(社)繊維学会ほか
日 時：2002年4月22日(月)～24日(水)
講演会場：東京大学先端研/駒場リサーチキャンパス 先端研新4号館大会議室
ポスター会場：先端研13号館教授会室または生研 Restaurant 2階会議室
懇親会会場：生産技術研究所 Restaurant
プログラム、申込等については下記にお問い合わせ下さい。
〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎御所海道町
京都工芸繊維大学 大学院 先端ファイブ科学専攻 複合材料界面科学研究会 事務局(担当：濱田泰以)
TEL:075-724-7844 FAX:075-724-7800 E-mail:hhamada@ipc.kit.ac.jp

内外の全繊維・全加工段階のデータ・資料を収録

2002年版『繊維ハンドブック』

〈B6判 約400頁 定価(5,715円+税)送料当方負担〉

日本と世界の最新の繊維データバンクとして定評のある『繊維ハンドブック』の「2002年版」がこのほど発刊された。日本と主要国の繊維原料から素材、テキスタイル、アパレル、流通、消費に至るまでの全繊維、全加工段階の最新のデータ・資料が系統立てて収録されており、文字どおり“繊維のことなら何でも分かる”ハンドブックとなっている。

「国内統計編」「国際統計編」「資料編」の3部構成で、全体を通じて既刊内容との継続性に細かい配慮が払われている。お問い合わせ・お申込みは、日本化学繊維協会まで

東京/〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-1-11(繊維会館6階)

TEL:03-3241-2313 FAX:03-3241-9466

大阪/〒541-0048 大阪府中央区瓦町4-6-8(大阪化学繊維会館7階)

TEL:06-6231-6781 FAX:06-6223-1790

なお、日本国外からの購入申込みについては丸善にお問合せ下さい。

MARUZEN CO., LTD

P.O. BOX 5050 Tokyo

International 103-8245 JAPAN TEL:81-3-3273-3234 FAX:81-3-3278-9256